

平成22年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	みやき町立三根中学校		
2 所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字市武1661番地		
3 校長名	川崎 健二		
4 学級数 児童生徒数	7学級 196人	5 実施学年 児童生徒数	3年 63人

6 取組のねらい

3年生は、総合的な学習の時間に「共生」という学年テーマのもと様々な立場の方々に関わる活動を通して、社会に目をむける取り組みを行った。ともに助け合っていく社会を実現するために、自分たちにできることを考えることや、地域社会や職場の方々とのふれ合うことによって、豊かな人間関係をつくり他人を思いやる心や感謝の心を育てることをねらいとした。

7 取組の実際（写真等を入れ具体的な様子がわかるようにすること）

1学期は、ブラインドウォーク体験活動を通して、目の不自由な方に出会ったときにどのような行動をとればいいのか、そしてどのように介助すればいいのか、具体的な方法を学んだ。また、高齢者疑似体験を通して、高齢者がどのようなことに不安を感じているか、また、自分たちはどのようなことができるか、について考えた。

2学期は、1学期の学習を生かし、保育所や特別養護老人ホームへの訪問活動を行い、高齢者や園児、職員の方々とのふれあいを体験した。また、訪問に向けては、紙芝居や人形劇、時代劇を披露することを計画し、役者やナレーター、背景画などと役割を分担して準備を行い、訪問時に披露した。



ブラインドウォーク



高齢者疑似体験



特別養護老人ホームでの劇



保育所での紙芝居

8 取組の成果と課題

ブラインドウォークや高齢者疑似体験などの体験活動を通して、目が不自由な方や高齢者の方の立場にたって、日常生活の中で感じる様々な不安や移動する際に困ることなどを体験することで、自分たちにできることについて考えることができた。また、保育所や特別養護老人ホームを訪問して、園児と一緒に活動したり、高齢者の方や職員の方々から具体的な話を聞いたりすることで、考えを深めることができた。

課題としては、訪問後、体験したことや体験によって考えたことなどを発信する場の設定が必要であると考えます。

※必要に応じて、適宜、枠を広げ作成すること